

いつも生徒さんの指導の指導をしていただき、ありがとうございます。

この度、月報、やりかた指導プランの書式を変更いたしましたので、

新月報・書き方例

新やり方指導プラン・書き方例 を送付させていただきます。

以下に記入にあたっての注意事項を記載させていただきましたので、目を通してください。ご不明な点がありましたら本部までお電話をお願いします。

新月報

月の初めに・・・

(1) 『今月の優先指導科目』(右上)

その月の目標を立ててください。定期テストがあればそれに向けて、またテストがない月でも生徒さんの苦手分野の克服など、課題点をもとに立ててください。

毎回行うこと・・・

(2) 『授業の記録』(左側)

毎回「日付」、「指導した内容」、「苦手ポイント」、「時間数」を記入し、保護者様に「確認印」を必ず頂いてください。保護者様に毎回お見せするものですので「指導した内容」、「苦手ポイント」は教科名だけでなく、その教科の単元まで記入してください。時間数は固定の指導時間を記入してください。保護者様に事前に許可を得て延長した場合のみ、その延長時間数も加えて記入してください。

(3) 『成績、テスト名』(右側)

その月に定期テスト、学力テスト等がありましたらその結果を記入してください。

月間の指導が終了したら・・・

(4) 『当月の合計指導時間を記入』

固定指導を何回行ったかを「 分× 回 = 分」という形で記入してください。「上記以外の指導時間」には「 分× 回 = 分」の中に書き込めない、半端な時間を記入してください。下の段に合計時間を記入し、必ず保護者の印を頂いてください。

(5) 『次月への対策や指導重点科目』

その月の中で見つけた生徒さんの弱点、課題点をもとに次月の指導への対策を立ててください。「苦手ポイント」を参考にして立てると月々の横の流れができて指導しやすいです。

(6) 『月末の教師チェック』

その月のご自分の指導を振り返って自己評価をして下さい。反省点があるようでしたら、次月の指導に反省点を活かしてください。

(7) 『生徒記入欄』『保護者記入欄』

当社へのご意見・ご要望等、何かありましたらご記入いただくようお願いください。指導にあたってのご意見を書いていただいたりして、先生方も参考にしてください。

やり方指導プラン

やり方指導をする生徒さんとしらない生徒さんがいると思いますが、やり方指導をする時に参考にしてください。

点線でマスを区切ってありますので一マスを一日分として使っていただいてもいいですし、横一列を一日として使っていただいてもいいです。先生とご家庭の方が見やすいように記入してください。

ただ、勉強の習慣付けができていない生徒さんに関しては必ず「できる時間」に「できる量」だけの勉強をさせるよう、先生の方でも配慮してあげてください。

- 新月報、その他ツールのダウンロードについて -

今後、ファーストの家庭教師月報、やり方指導プラン等のツールは以下のURLにアクセスしてファイルをダウンロードしてください。PDF形式のファイルですのでプリントアウトしてご利用ください。

<http://www.kate1.com/>